

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立豊岡高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の実態や学校の現状、グランドデザインなどを踏まえ、学校として目指す方向が簡明に示されており、概ね適切に設定されている。4年後の創立100周年に向けて、「大学進学重視型の単位制」など学校の特色や強みを具体的に交え、次のステージにつながる魅力的な学校像を模索していただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	分掌・年次等の意見を取り入れて取り組むべき課題が具体的に示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、課題を解決するため、中期的な視点から更に検討・整理して一層重点化することが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・年次・教科のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。針路構想委員会が教職員の意見・要望等を吸い上げ、学校全体で共有化するなど、学校自己評価システムを適切に運営するため、組織間の連携を強化し、教職員全体や学校関係者が参画するように工夫している。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「新授業3ヶ条」や「豊高ゼミ」などの組織的・計画的な取組が徹底して行われ、規範意識の向上や積極的な学びの姿勢の育成などに成果も上がっている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせて分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえ、「基礎基本の徹底」を明確な学校経営の方針として示し、目指す学校像の実現に向けて生徒・保護者・地域が一体となって取り組むことができるよう、課題や目標の共通理解を図っている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、学校評価運営委員会が適切に機能しており、教職員全体で組織的な優れた取組を展開している。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を達成状況や課題の根拠として教職員に明示し、共通理解を図っている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に詳細に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		